

令和 7 年度
ひたちなか市中学校総合体育大会要項

期 日 6月19日（木）・20日（金）
予備日 6月21日（土）・22日（日）
会 場 ひたちなか市体育施設



主 催 ひたちなか市教育委員会
ひたちなか市中学校体育連盟

ひたちなか市中学校総合体育大会 会場一覧

| 種目 | 会場 | 種目 | 会場 |
|--------|---|----------|-----------------------|
| 陸上競技 | | バスケットボール | 市総合体育館 |
| 軟式野球 | 市民球場 | バレーボール | 男子：リヴァーレ 女子：美乃浜学園 |
| サッカー | 市総合運動公園 スポーツ広場 | 卓 球 | 男子：那珂湊体育館 女子：松戸体育館 |
| ソフトテニス | 市総合運動公園 テニスコート | 柔 道 | 那珂湊武道場 |
| ソフトボール | 石川運動ひろば | 剣 道 | 市総合体育館武道場 |
| 大会本部 | 勝田第二中学校（事務局 白土 大吾） 029-272-2624 緊急連絡先 080-2022-6279 | | |

- ※ 雨天時の態度決定（AM 6：00）
専門委員長が専門部長及び会長と協議の上、態度を決定し事務局及び各中学校顧問に速やかに連絡をする。
- ※ 引率計画は、各中学校でそれぞれ綿密に立て、交通事故等に十分注意すること。
- ※ 予備日については下記の日程で実施します。
6月21日（土）、22日（日）
- ※ 今年度の男子バレーはリヴァーレの体育館を使用させていただきます。

軟式野球の部

1 大会役員 担当校長 中原 悟（美乃浜学園）
委員長 塙 拓大（田彦中）
役員 瀬谷 聰一（一中） 菊池 蓮央（一中）
古屋 健太郎（二中） 白土 大吾（二中）
綿引 尚憲（三中） 時光 宏太（三中）
高田 寛貴（佐野中） 川崎 泰典（佐野中）
宇地原 良二（大島中） 大内 雅貴（大島中）
橋本 拓也（田彦中）
山野 雄志（那珂湊中） 前島 寛志（那珂湊中）
川上 丘人（美乃浜学園） 鈴木 真央（美乃浜学園）
畠山 晴輝（勝田中等） 屋代 和成（勝田中等）
渡邊 文弥（勝田中等）
ひたちなか野球連盟審判 2名

2 連絡先 田彦中学校 274-9383
塙 携帯 080-5982-6175

3 日程 【第1日】6月19日（木） 【第2日】6月20日（金）
ひたちなか市民球場レクリエーション広場
【予備日】21日（土） 22日（日）市民球場

開場 6:00 開場 6:00
競技開始 8:30 競技開始 8:30
競技終了 16:00 競技終了 16:30

4 表彰 優勝・準優勝校にカップ、賞状を授与する。
3位・4位校に賞状を授与する。
個人表彰は、優勝校から最優秀選手、その他各学校から優秀選手、それぞれ
1名に賞状を授与する。

5 競技規則

- (1) 試合は7回戦とし、試合開始後100分以降は新しいイニングには入らない。
5回以降7点差でコールドゲームとする。延長戦はなしとし、
それ以後は特別ルールを適用する。

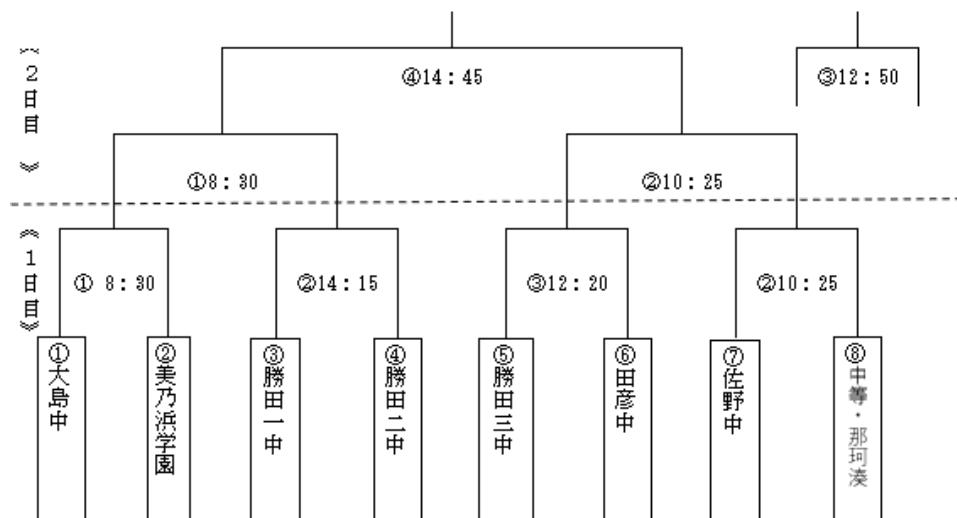
※特別ルール

継続打順で、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次前の打者とする。すなわち、無死1、2塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。同点の場合は、次回も更に継続打順で同じ方法で行い、勝敗が決するまで行う。

- (2) 日没、降雨で試合が継続できない場合には、特別継続試合とする。
(3) ベンチ入りできる人数は、校長または代理の者1名・部長1名・監督(部活動指導員)
1名・外部コーチ1名・選手20名の計24名とする。
(4) 使用球は、(財)全日本軟式野球連盟公認球(M号球)とする。
(5) ベンチは、組み合わせ番号の若い方のチームが1塁側とする。
(6) 次の試合を行うチームの監督(部活動指導員)及び主将(ベンチ入りする場合は外部コーチも含む)は、4回終了時(第1試合は、試合開始30分前)にメンバー表5通を本部に提出し、攻守を決める。その際、生徒役員2名も本部に集合する。
生徒役員のボールボーイは、必ずヘルメット(両耳)を着用する。

- (7) ベンチ内のメガホンは1個とし、監督(部活動指導員)が使用する。
- (8) 監督(部活動指導員)及び外部コーチは必ずユニホームを着用し、ベンチ内は禁煙とする。
- (9) 打者、走者、捕手及びコーチャーは必ずヘルメットを着用すること。打者、走者は両耳とする。捕手はセーフティーカップをつけることとする。
- (10) マスクコットバット、バットリング、鉄棒の使用は禁止とする。
- (11) 野球規則3.03原注『投手は同一イニングで投手以外の守備に2度以上つくことはゆるされない』は本大会では適用しない。
- (12) シートノックは5分以内とし、大会運営上、短縮もしくは行わない場合もある。ノッカーは必ずユニフォームを着用する。また、ノッカー・ノックを受ける者は、選手登録メンバーに限る。自校ユニフォーム(白無地可)を着用した5名以内の補助者をつけることができる。ボール出しの生徒は、必ずヘルメットを着用する。
- (13) 試合時間短縮のため、攻守交替はスピード一に行う。
- (14) 個人的なヤジや粗暴な言動、ラフプレーのないようにし、審判の指示・注意に従わない場合は退場させることができる。
- (15) 各回ごとのキャッチャーの声かけは、ホームベース付近で短く行う。
- (16) サインはバッターボックスを外さず、ボックス内で見る。
- (17) 試合開始と終了時の挨拶は、バッターボックスに平行に整列して行う。
- (18) ブルペンは、4回終了後、先発バッテリーの投球練習のみ行うことができる。
- (19) その他は、2024年公認野球規則及び競技者必携2024茨城県中学校体育連盟軟式野球専門部大会特別規定に準ずる。

6 組み合わせ 令和7年度 市新人体育大会軟式野球の部



7 申し合わせ事項

- ・教育的配慮により、3年生は20名以外にもベンチに入ることができる。但し、背番号20番以降の選手はシートノックや試合に出場したり、コーチャーとしてコーチャーボックスに立つことはできない。
- ・投球を受ける者は、必ずすべての防具を着用する。
- ・ペットボトルを使用しての応援を禁止する。

8 申し込み

- ・6月12日(木)までに、メンバー登録用紙を田彦中の壇まで提出すること。

9 その他

- ・市内大会優勝校、準優勝校と第3位のチームには中央地区総体への出場権を与える。
- ・会場使用については、各チームが責任を持ち、ゴミ等は必ず持ち帰る。
- ・グランド整備は試合当事者で行う。
- ・保護者からの差し入れは禁止とする。

令和7年度 ひたちなか市総合体育大会 サッカーの部実施要項

- 1 大会役員 部長 豊田 敬慈(勝田二)
委員長 江幡祐太朗(大島)
副委員長 岡 雅昭(佐野)
審判長 小野瀬裕輝(勝田一)
役員 大森 雅人(勝田一) 斎藤 雅也(勝田二) 陶 泰行(勝田二)
今井 康裕(勝田三) 鈴木 桂介(勝田三) 西澤 勇祐(佐野)
宇留野仁一(大島) 住谷 純(田彦) 栗田 千裕(田彦)
宇佐美 翔(那珂湊) 斎藤 照之(那珂湊) 永井 裕樹(美乃浜)
儀壽 克尚(美乃浜) 松田 謙(美乃浜) 影山 聰久(美乃浜)
向田 拓磨(勝田中) 澤幡 泰広(勝田中) 渡辺 康彦(勝田中)
- 2 連絡先 大島中学校 TEL 029-275-3930 (江幡 祐太朗)
市総合運動公園 TEL 029-273-9370
- 3 日程 6/19(木)、20(金) (予備日 21(土)、22(日))
【第1日】 予選リーグ 【第2日】 予選リーグ、順位トーナメント
開場 7:00 開場 7:00
役員打ち合わせ 8:30 役員打ち合わせ 8:30
競技開始 9:00 競技開始 9:00
競技終了 15:00 競技終了 16:00
- 4 表彰 優勝・準優勝校にカップ、賞状を授与する。第3位校(2チーム)には賞状を授与する。
- 5 競技規則・競技方法
(1) 試合時間 ……50分(25-5-25)
※ 2日目の順位トーナメントは、50分で勝敗が決しない場合にPK戦を行い、勝敗を決定する。
(2) 競技規則は、2024/2025日本サッカー協会の「サッカー競技規則」による。
(3) 交代選手は、登録選手18名の中から主審の許可を得て自由に交代することができる。
(4) 予選リーグと1・2位トーナメントについて、メンバー表2部を試合開始15分前に提出する。
(5) 試合球は5号球とする。
(6) 順位決定方法
①勝ち点法(勝ち…3点、引き分け…1点、負け…0点) ②得失点差 ③得点の多い方
④対戦相手 ⑤ ①～④において複数チーム並んだ場合、並んだチーム同士でPK戦を行う。
(7) 監督又はコーチ(外部指導者も含む)の中からその都度1名のみ、試合中の指示・コーチング等を行うことができる。なお、ベンチ入りする外部指導者・部活動指導員については、IDカードを持参すること。
(8) 天候等により選手の健康・安全上の配慮が必要と判断された時は、飲水タイムまたは、クーリングブレイクを設ける。
(9) 本大会に参加するチームで、順位トーナメントにおいて退場を命ぜられた選手は、その内容により、中央地区大会にその未消化分が継続する。
- 6 懲罰
(1) 主審より退場を命じられた選手及び退席を命じられた役員は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。追加的処分については(公財)日本サッカー協会懲罰基準に準拠して(公財)茨城県サッカー協会第3種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、(公財)茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会が決定する。
(2) 本大会期間中に(公財)茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会において出場停止処分の罰則が決定されながら、本大会の終了によって残存した出場停止処分については、令和7年度中央地区総合体育大会で適用される。令和7年度中央地区総合大会に出場しない場合は、順次の公式戦で適用される。
(3) 本大会で累積された警告が2回となった場合、自動的に本大会の次の試合1試合の出場停止処分を受ける。ただし、違反行為の内容によっては、追加的処分を(公財)茨城県サッカー協会第3種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、(公財)茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会において決定する。
(4) 同一試合で2回警告による退場を命じられた選手は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。ただし、試合出場停止により処分されたものとし2回の警告は累積されない。本大会の終了によって残存した出場停止処分については、令和7年度中央地区総合体育大会で適用される。令和7年度中央地区総合体育大会に出場しない場合は、順次の公式戦で適用される。
(5) 累積された警告での出場停止処分及び警告の累積は、本大会終了時をもって効力を失う。
(6) 出場資格がない選手が本大会の試合に出場した場合、それが判明した時点で没収試合とし、当該チームの0-3の敗戦として試合を打ち切る。この該当チームの懲罰については(公財)茨城県サッカー協会第3種委員会内規律・フェアプレー部及び(公財)茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて協議の上決定する。

(7) ピッチ内外での不適切な言動や重大な違反行為及び本実施要項に記載のない違反行為に関する懲罰事項は、事実確認のヒアリングを実施の上（公財）日本サッカー協会懲罰規程に基づき（公財）茨城県サッカー協会第3種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会が決定する。

7 その他

- ・準備は第1試合のチームがゴール、第2試合のチームが椅子、テント等
- ・態度決定 5:30 ※中止の場合、委員長から各顧問の先生へ連絡
- ・上位4校が中央地区大会への代表校となる。

期日…7月1日（火）、2日（水）、3日（木） 予備日 4日（金）

会場…ひたちなか地区多目的広場（大会1、2日目）/ IFA フットボールセンター（大会3日目）

8 組み合わせ

A ブロック

| | 那 珂 湊 | 美 ・ 田 | 勝 田 一 | 大 島 | 勝 ち 点 | 得 失 点 | 得 点 | 順 位 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|-------------|-------------|--------|--------|
| 那 珂 湊 | | | | | | | | |
| 美 ・ 田 | | | | | | | | |
| 勝 田 一 | | | | | | | | |
| 大 島 | | | | | | | | |

<第1・2日目 予選リーグ >

A コート（体育館側）

| | 試合 | 試合時間 | 審判員 | |
|---|-------------|-------|-----|----|
| | | | 主 | 副審 |
| 1 | 那珂湊 vs 大島 | 9:00 | | |
| 2 | 勝田二 vs 勝田中等 | 10:30 | | |
| 3 | 那珂湊 vs 美・田 | 12:00 | | |
| 4 | 勝田二 vs 勝田三 | 13:30 | | |
| 5 | 那珂湊 vs 勝田一 | 9:00 | | |
| 6 | 勝田二 vs 佐野 | 10:30 | | |

※ 波線以下の予選リーグ第5・6試合は、2日目に実施する。

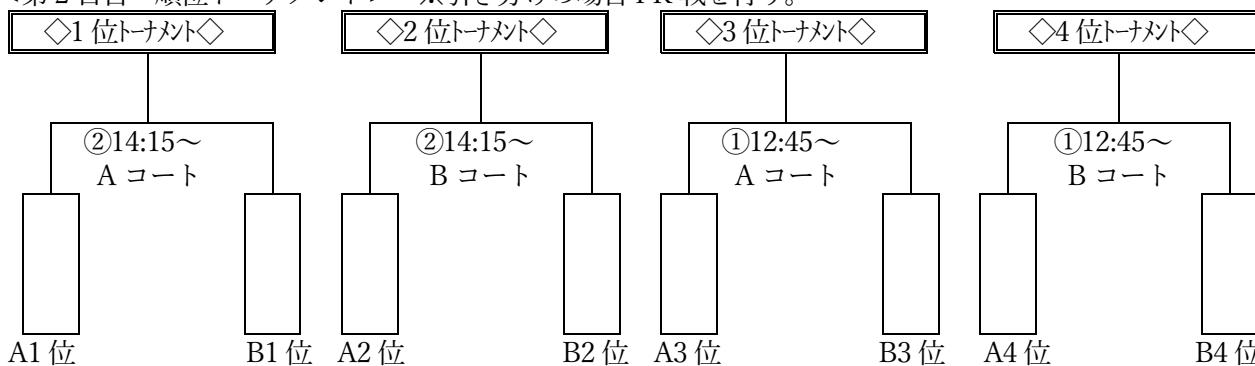
B ブロック

| | 勝 田 二 | 勝 田 三 | 佐 野 | 勝 田 中 | 勝 ち 点 | 得 失 点 | 得 点 | 順 位 |
|-------------|-------------|-------------|--------|-------------|-------------|-------------|--------|--------|
| 勝 田 二 | | | | | | | | |
| 勝 田 三 | | | | | | | | |
| 佐 野 | | | | | | | | |
| 勝 田 中 | | | | | | | | |

B コート（道路側）

| | 試合 | 試合時間 | 審判員 | |
|---|-------------|-------|-----|----|
| | | | 主 | 副審 |
| 1 | 美・田 vs 勝田一 | 9:00 | | |
| 2 | 勝田三 vs 佐野 | 10:30 | | |
| 3 | 勝田一 vs 大島 | 12:00 | | |
| 4 | 佐野 vs 勝田中等 | 13:30 | | |
| 5 | 美・田 vs 大島 | 9:00 | | |
| 6 | 勝田三 vs 勝田中等 | 10:30 | | |

<第2日目 順位トーナメント> ※引き分けの場合PK戦を行う。



8 緊急時の病院

ひたちなか総合病院 石川20-1
勝田病院 中根5125-2

TEL 354-5111
TEL 272-5184

ソフトテニスの部

1 役員一覧

| 役名 | 氏名 | 団体名 |
|---------|---|------|
| 専門部長 | 飯村 祐一 | 勝田一 |
| 委員長 | 小松崎 千夏 | 勝田二 |
| 副委員長 | (男子) 大須賀 彩子 | 佐野 |
| | (女子) 川又 智有 | 佐野 |
| 競技部・審判長 | 菱木 隆太 | 勝田中等 |
| 会計 | 多邊田 和音 | 田彦 |
| 総務 | (男子) 寺沼 知倫 | 美乃浜 |
| | (女子) 大久保 夏織 | 勝田一 |
| 役員 | 矢吹 雅行 清水 沙也加 大久保 夏織 | 勝田一 |
| | 小松崎 千夏 川又 彩 山本 晃 加藤 真喜子 | 勝田二 |
| | 田代 宜弘 片山 優香 栗野 嘉月 | 勝田三 |
| | 大須賀 彩子 松下 春美 川又 智有 | 佐野 |
| | 佐々木 春輝 道口 悅子 小野瀬 真勇 | 大島 |
| | 大平 英敬 山口 遥菜 多邊田 和音 | 田彦 |
| | 長谷川 広明 宇津野 玲央 高橋 幸平 伊藤 崇 | 那珂湊 |
| | 寺沼 知倫、 佐藤 大介 雨谷 秀樹 湯浅 光芳 皆川 寛貴 山崎 愛優美 | 美乃浜 |
| | 菱木 隆太 吉富 忠宏 | 勝田中等 |
| | 小谷 真一 綱野 真由美 | 湊クラブ |

2 連絡先 勝田二 029-272-2624
 小松崎携帯 080-9388-6063
 会場 (ひたちなか市総合運動公園) 029-273-9370

3 日程 6月19日(木)、20日(金) (予備日 21日、22日)

【第1日】男子個人・女子団体
 開場 7:30
 競技開始 8:30
 競技終了 16:00

【第2日】男子団体・女子個人
 開場 7:30
 競技開始 8:30
 競技終了 16:00

4 表彰 優勝・準優勝校にカップ、賞状を授与する。
 第3位校(ベスト4)には賞状を授与する。
 個人戦においてはベスト8まで賞状を授与する。

- 5 競技規則 ①この大会は、現行の（財）日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」に準ずる。
 ②ゲームは基本5ゲームとする。なお、団体戦においては、決勝・3位・5位決定戦、個人戦においてはベスト8決めと敗者復活戦の中央決定戦を7ゲームとする。

6 組み合わせ

(1) 団体戦

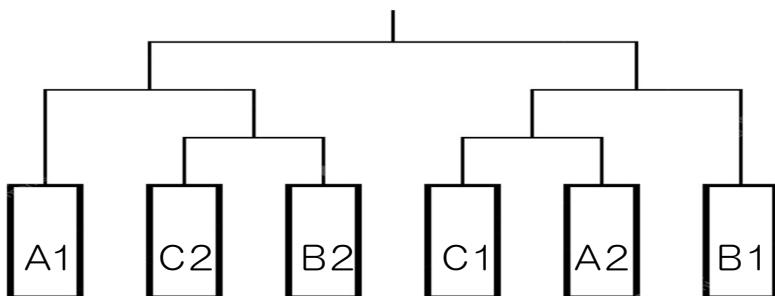
<男子予選リーグ>

| A | B | C |
|-------------------|------------------|--------------------------|
| 湊クラブ 佐野 美乃浜 | 勝田二 勝田一 田彦 | 大島 勝田中等 那珂湊 勝田三 |
| | | |

<女子予選リーグ>

| A | B | C |
|-------------------|-------------------|-----------------|
| 勝田二 勝田三 那珂湊 | 勝田一 田彦 勝田中等 | 大島 佐野 美乃浜 |
| | | |

<決勝トーナメント>



男子は3決、5決を実施する。

女子は3決のみ実施する。

(2) 個人戦 別紙参照。

7 競技方法、その他

- (1) 団体戦は各団体3チームによる点取り制とする。
 3つの予選リーグを行い、各リーグ 上位2チームが決勝トーナメントに進む。
 予選リーグは勝敗が決まっても3本目まで行う。
 決勝トーナメントは2本先取とする。
- (2) 個人戦は各校 10チームの参加を原則とし、トーナメント制とする。
- (3) 審判は生徒審判を基本とする。出場する全ての選手が審判ができるようにしておく。

- (4) 進行がスムーズになるよう、以下の点に気をつける。
- ・団体戦ではオーダーの提出を速やかに行う。
 - ・個人戦では、敗者はコートに残り、速やかに審判を行う。
 - ・審判はジャッジペーパーを速やかに本部まで届ける。なお、個人戦では必ずジャッジペーパーを確認し、「勝者 No」の欄にサインをすること。（登録番号でよい）
 - ・個人戦のトスは、進行表の初戦のみコートで行い、それ以降は本部前で行うので放送が聞こえる場所で選手は待機しておく。
 - ・本部でトスが終了した選手は試合を実施するコートで座って待機しておく。
- (5) 服装、ラケット、日傘の使用について
- ・公認のユニフォームを着用すること。袖まくりなし（ノースリーブ・ワンピース、最初からついているリボンやフリルも可）
 - ・所有者を表示する場合を除き、ウエア・用具類への文字や記号の書き込み、印刷、刺繡は禁止
 - ・選手の腕等へのペイント、文字の書き込みは禁止。
 - ・ミサンガや磁気ネックレスや時計などの装飾品を身につけての出場は禁止。（ボールホルダーにミサンガも）
 - ・アンダーシャツは長袖、ハイネック、長スパッツ可（無地単色。色はステッチも含めて白・黒・ベージュ）
(単色とは、アンダーシャツとステッチの色が同色であることを指す。)
 - ・ストリングの色に指定はない（縦横の色が違うことも認められる）
 - ・日傘は反射色（白・シルバー等）が入っているものは不可。
一面のみシルバーも不可
- (6) トイレは外トイレを使用する。
競技中に他会場に入らない。（野球場、体育館、陸上競技場）
- (7) 自動販売機の使用は禁止する。
- (10) テニスコート以外で、ボールを使った練習は行わない。
- (11) 本部補助員
1日目 勝田一（男子）、美乃浜（女子） 2日目 勝田三（男子） 勝田二（女子）
- (12) 朝の練習コート割り振り（8:00～8:20）
A1：勝田一 A2：勝田二 A3：勝田三 A4：佐野 A5：勝田中等
B1：大島 B2：田彦 B3：那珂湊 B4：美乃浜 C1：湊クラブ
- (13) 中央地区への出場 団体戦：男子5、女子3
個人戦：男子12ペア、女子11ペア

令和7年度 ひたちなか市総合体育大会 ソフトボールの部 実施要項

1 大会役員

| | | |
|-----|--------|--------------|
| 部長 | 水谷 聖美 | (田 彦) |
| 委員長 | 陶 泰行 | (勝田二) |
| 審判長 | 大場 敦 | |
| 役員 | 飛田 翔太 | 大窪 美奈 (勝田一) |
| | 陶 泰行 | 斎藤 雅也 (勝田二) |
| | 飯野 兼一 | 石津 憲一 (勝田三) |
| | 大森 貴弘 | 川崎 泰典 (佐 野) |
| | 丹波 楓夏 | 山田 伊都子 (大 島) |
| | 袴塚 正之 | 古屋 爽太郎 (田 彦) |
| | 小沼 慶太郎 | 前島 寛志 (那珂湊) |

市ソフトボール協会より派遣審判・・・1日目8名 2日目4名

2 連絡先

勝田第二中学校.....029-274-2624
陶携帯.....080-6577-6949
会場.....029-272-3222 石川グラウンド（2面使用）A面・B面

3 日 程

態度決定は6:00

| 【第1日目】 6/19 (木) | | 【第2日目】 6/20 (金) | |
|-----------------|-------|-----------------|-------|
| グラウンド作り開始 | 7:30 | グラウンド作り開始 | 7:30 |
| 役員打合せ | 8:15 | 役員打合せ | 8:15 |
| ベンチ入り | 9:10 | ベンチ入り | 9:10 |
| 競技開始 | 9:30 | 競技開始 | 9:30 |
| 競技終了 | 13:30 | 競技終了 | 13:30 |

4 表彰

優勝校・準優勝校にカップと賞状、3位2校に賞状を授与する。
(開会式・閉会式は行わないが、B面で表彰式を行う。)

5 競技規則

①試合

- 2025年オフィシャルソフトボールルールによる。ただし、退場に関するルールは協議する。
- 全試合7回戦とし、3回15点差、4回10点差、5回以降7点差をコールドゲームとする。
最終回終了時に同点の場合は、決着がつくまでタイブレークを採用する。
- 1日目および2日目とも、時間制限ありとする。この場合、試合開始80分を超えて新しいイニングに入らない。
- 雨天・日没によるコールドゲームは、5回をもって成立とし、成立しない場合は、サスペンデットゲームを適用する。但し、審判員が同一とは限らないこととする。
- 試合間は試合終了後から20分後にベンチ入りする。(気象状況、進行状況により変更の可能性もある)
- 熱中症対策として、イニングが15分間以上続いた場合、イニングを中断し5分間の休憩をとる。ただし、休憩は試合時間に含まないものとする。また、給水休憩後、投手の準備投球は3球以内とする。
- 三すくみの場合、失点率(失点数÷イニング数)で順位を決定する。失点率も同じ場合、得点率で順位を決定する。また、それでも決着がつかない場合、抽選とする。
- 前の試合がコールドゲーム等で早く終了しても、次の試合開始時刻は早めない。

②チーム編成

- ベンチ入りできる人数は監督1名(背番号30)、引率責任者1名、コーチ1名(背番号31または32)、所属部員全員のベンチ入りを認めるが、試合に出場できるのは登録選手20名に限る。但し、監督・引率責任者は当該学校の教員または部活動指導員とする。なお、コーチは、当該学校の教員または校長の推薦により、茨城県中体連の承認を得た外部指導者または部活動指導員とする。
- コーチはフィールディングを行うことができるが、選手交代、抗議権等監督の権限はない。
- コーチは承認証を携帯し、コーチとしての職務を遂行する。
- コーチズボックスの一方で、監督・コーチが入ることを可とする。ただし、その際のベンチ内には、引率責任者、監督、コーチのいずれかが必ずいること。

③注意事項

- ・1日目、2日目とも組み合わせの左チームを1塁側ベンチとする。
- ・フィールディングは5分以内とし、その日の始めの試合のみ実施する。ノッカーは必ずユニフォームを着用する。また、ノッカー、ノックを受ける者は、登録メンバーに限る。
- ・メガホンの使用は監督のみとする。
- ・降雨、落雷、緊急地震速報や全国瞬時警報システム（Jアラート）等が使用された場合、大会本部の指示に従って避難すること。（市民会館に一時避難場所をお願いしている。）
- ・第1日目の監督者会議にて、参加申込書（2部）提出すること。（職印省略可）

6 組み合わせ及び補助員担当

第1日目 (左側に名前があるチームが一塁側ベンチ)

| | A面 | B面 |
|---------|----------------------|------------------|
| ① 9:30 | 勝田一・田彦 - 勝田二・勝田三・那珂湊 | 佐野 - 大島 |
| 補助員 | 各校から1名 | 各校から1名 |
| ② 11:30 | 勝田一・田彦 - 大島 | 佐野 - 勝田二・勝田三・那珂湊 |
| 補助員 | 各校から1名 | 各校から1名 |

第2日目 (左側に名前があるチームが一塁側ベンチ)

| | A面 |
|---------|------------------|
| ③ 9:30 | 大島 - 勝田二・勝田三・那珂湊 |
| 補助員 | 各校から1名 |
| ④ 11:30 | 勝田一・田彦 - 佐野 |
| 補助員 | 各校から1名 |

| | 大島 | 勝田一・田彦 | 勝田二・勝田三・那珂湊 | 佐野 |
|-------------|----|--------|-------------|----|
| 大島 | | - | - | - |
| 勝田一・田彦 | - | | - | - |
| 勝田二・勝田三・那珂湊 | - | - | | - |
| 佐野 | - | - | - | |

7 その他の

(1) 監督者会議を8:15に、本部で行う。

(2) 全チーム中央地区大会に出場する。

(3) 準備物

ベース1組ずつ（佐野中【A面】、勝田一中または田彦中【B面】）

プレート2枚（勝田二中）、ライン引き・メジャー・スコップ（各校用意）

※雨天時・スポンジやブルーシート等を各校用意

(4) コート作成

第2試合目のチームが担当する。第1試合目のチームは、試合の準備を行う。

なお、1日目終了後、アンカー等は抜いて片付け、2日目の朝に再度コート作成を行う。

令和7年度 ひたちなか市中学校総合体育大会 バスケットボールの部 実施要項

1 期 日 令和7年6月19日(木)、20日(金)

2 会 場 ひたちなか市総合体育館

3 日 程 1日目 第1試合 9:00 2日目 第1試合 9:00

第2試合 10:40 第2試合 10:40

第3試合 12:40 第3試合 12:40

第4試合 14:00 第4試合 14:00

※組み合わせは別紙参照

4 競技規則

- ・2025年度日本バスケットボール競技規則に準ずる。また、マンツーマンディフェンス基準規則に準ずる。
- ・使用球は、男子7号球、女子6号球とし、大会主催者が用意したボールを使用する
- ・チームは、学校関係者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手15名以内の計19名以内とする。
- ・ユニフォームは、組み合わせ表の左側が淡色とする。4チームのリーグ戦の場合は番号の若い方が淡色とする。オフィシャルは、男子の試合を女子の2チーム、女子の試合を男子の2チームが協力して行う。
- ・メンバーの登録は、第1試合開始10分前、第2試合以降は前試合のハーフタイム時までに済ませる。
- ・ベンチは、組合せ左側(若い番号)のチームがオフィシャル席に向かって右側とし、ユニフォームは、淡色系を着用する。ユニフォームの色は当該チーム同士が話し合いによって、変更してもよいこととする。
- ・男女とも優勝・準優勝・第3位のチームに、中央地区大会への出場権を与える。
- ・外部コーチは、コーチ又はアシスタントコーチとして扱うものとする。

5 表彰

- ・優勝・準優勝校に賞状、カップを授与する。第3位校、第4位校に賞状を与える。
- ・各チームの優秀選手には、賞状を与える。

6 競技役員

(1) 専門部長 川上 徹行(勝田第三中学校)

(2) 委員長 田村 朋也(勝)

(3) 副委員長 後藤 敬(大) 小川 太貴(二)

(4) 総務 ◎田村 朋也(勝) ○柄澤 慎太朗(湊)

(5) 審判 ◎小川 大貴(二) ○小森 拓(一)、星 保勲(大)

*各参加校顧問及び大会役員を含む。他ミニ・高体連、一般、外部コーチから協力を得る。

(6) 競技 ◎高村 勇志(佐) ○渡邊 拓人(田)

(7) 記録 ◎會田 雄人(美) ○後藤 敬(大)

(8) 救護 ◎小沼 杏子(三) ○添田 遥(大)

7. 連絡先 茨城県立勝田中等教育学校 TEL: 029-273-7411

FAX: 029-276-1650

ひたちなか市総合体育館 TEL: 029-273-9370

8. その他

① 競技時間の縮小により開会式・閉会式は行わない。

② 会場使用の規定を守り、生徒指導は各中学校の責任で徹底を図る。

- ・昼食は3階の観客席で摂る。
- ・ゴミは各自で持ち帰り、会場をきれいに使う。
- ・生徒はエレベーターを使用しない。
- ・応援での鳴り物を禁止とする。
- ・バスケットボール会場以外へは行かない。
- ・生徒の自動販売機の使用を禁止する
- ・アリーナでの、水の使用を禁止する。(アリーナ外では可能)

- ・保護者からの差し入れは、会場では配らない。各校で、周知徹底をお願いします。(中体連より)
 - ・自転車利用者は、自転車を整頓して駐輪し、ヘルメットを放置しない。
 - ・排煙装置や防火シャッターは絶対に触らない。(ブラインドの破損は、各校での弁償となります)
 - ・フロア以外では、絶対にボールを使用しない。
 - ・試合中、アリーナでの給水については、水筒またはスクイズボトルを使用する。ペットボトルの給水は不可とする。

③ 中学校の競技役員は、ひたちなか市総合運動公園体育館に7時30分に集合する。
審判割り振りは8時20分までに知らせる。

④ 外部コーチがベンチに入る場合は、茨城県中体連からの許可証を競技委員長に提示すること。

⑤ 原則として、1年生のみのオフィシャル(TO、フロアキーパー)にならないように配慮する。第2試合、第4試合のオフィシャルは勝ったチームがフロアキーパー、負けたチームがTO(テーブルオフィシャル)となる。第1試合、第3試合については当該チームで相談をして行う。オフィシャルがないチームは、人数が足りないチームがあればサポートをする。

9 組み合わせ

【男子の部】 予選リーグ・決勝リーグ

第1位～4位決定戦（リーグ戦）

<2日目>前日 A④勝 VS B④負 (A2)
前日 A④負 VS B④勝 (B2)

前日 A④勝 VS B④勝 (A4)
前日 A④負 VS B④負 (B4)

| | | | | | | | |
|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|
| | A④ | | | | | B④ | |
| | | | | | | | |
| | A② | | | B② | | C② | |
| | | | | | | | |
| 1 那 珂 湊 | 2 勝 田 | 3 勝 田 | 4 佐 野 | 5 勝 田 | 6 勝 田 | 7 大 島 | |
| | 中 等 | 二 | | 三 | 一 | | |

第5位～7位決定戦（リーグ戦）

<1日目> A②負 VS B②負 (C④)

<2日目> 前日 B②負 VS C②負 (C2)

前日 A②負 VS C②負 (C4)

【女子の部】 予選リーグ・決勝リーグ

| | | | | | | | |
|--------------------------|--------|--------------------|--------|--------------------|--------|--------------------|-------------|
| 第1位～4位決定戦（リーグ戦） | | | | | | | |
| <2日目>前日 A③勝 VS B③負 (A1) | | 前日 A③勝 VS B③勝 (A3) | | 前日 A③負 VS B③勝 (B1) | | 前日 A③負 VS B③負 (B3) | |
| | | | | | | | |
| | | A③ | | | B③ | | |
| A① | D① | C① | B① | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 佐 野 | 大 島 | 那 珂 湊 | 田 彦 | 勝 二 | 勝 一 | 勝 三 | 美 乃 浜 |
| | | | | | | | |
| C③ | | | | D③ | | | |
| 第5位～8位決定戦（リーグ戦） | | | | | | | |
| <2日目> 前日 C③勝 VS D③負 (C1) | | 前日 C③勝 VS D③勝 (C3) | | 前日 C③負 VS D③勝 (D1) | | 前日 C③負 VS D③負 (D3) | |
| | | | | | | | |

<組み合せ表> *黄色は男子

| 試合 | 1日目 時間 | Aコート | | TO | Bコート | | TO | Cコート | | TO | Dコート | | TO |
|----|--------|------|-------|----|------|-------|----|------|-------|-----|------|-------|-----|
| | | 右・淡 | 左・濃 | | 右・淡 | 左・濃 | | 右・淡 | 左・濃 | | 右・淡 | 左・濃 | |
| 1 | 9:00 | 佐野 | - 大島 | A2 | 勝田三 | - 美乃浜 | B2 | 勝田二 | - 勝田一 | 那珂湊 | 那珂湊 | - 田彦 | C2 |
| 2 | 10:40 | 勝田中等 | - 勝田二 | A1 | 佐野 | - 勝田三 | B1 | 勝田一 | - 大島 | C1 | | | |
| 3 | 12:40 | A①勝 | - D①勝 | A4 | C①勝 | - B①勝 | B4 | A①負 | - D①負 | C4 | C①負 | - B①負 | C②負 |
| 4 | 14:00 | 那珂湊 | - A②勝 | A3 | B②勝 | - C②勝 | B3 | A②負 | - B②負 | C3 | | | |

| 試合 | 2日目 時間 | Aコート | | TO | Bコート | | TO | Cコート | | TO | Dコート | | TO |
|----|--------|------|-------|----|------|-------|----|------|-------|----|------|-------|-----|
| | | 右・淡 | 左・濃 | | 右・淡 | 左・濃 | | 右・淡 | 左・濃 | | 右・淡 | 左・濃 | |
| 1 | 9:00 | A③勝 | - B③負 | A2 | A③負 | - B③勝 | B2 | C③勝 | - D③負 | C2 | C③負 | - D③勝 | A②負 |
| 2 | 10:40 | A④勝 | - B④負 | A1 | A④負 | - B④勝 | B1 | B②負 | - C②負 | C1 | | | |
| 3 | 12:40 | A③勝 | - B③勝 | A4 | A③負 | - B③負 | B4 | C③勝 | - D③勝 | C4 | C③負 | - D③負 | B②負 |
| 4 | 14:00 | A④勝 | - B④勝 | A3 | A④負 | - B④負 | B3 | A②負 | - C②負 | C3 | | | |

10 準備・片付けの分担

| コート設営 | Aコート | | Bコート | | Cコート | | Dコート | |
|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 佐野(女) | 大島(女) | 勝田三(女) | 美乃浜(女) | 勝田二(女) | 勝田一(女) | 那珂湊(女) | 田彦(女) |

| コート片付け | Aコート | | Bコート | | Cコート | | Dコート | |
|--------|-------------------|-----------|-------------------|-----------|-------------------|----------|------|--|
| | 2日目の A4の試合のチーム | B4の試合のチーム | 2日目の B4の試合のチーム | C4の試合のチーム | 2日目の C4の試合のチーム | D3の試合チーム | | |

○打ち合わせ前に委員長の田村、副委員長の後藤、審判長の小川は本部付近で割り当ての確認。

○生徒は8時までに集合し、初日のコートの設営を行う。2日目の終了後すみやかに片付けを行う。

※設営は1試合目のチーム、片付けは4試合目のチームを中心に行うが、他のチームも手伝う。

バレーボール競技の部

1 役員一覧

| | | | |
|-------|---|---|--|
| 専門部長 | 澤畠 孝也 (那珂湊) | 大内 保広 (勝田一) | 齋藤 ゆか (勝田一) |
| 専門委員長 | 豊田 一暁 (佐野) | 栗股 英莉 (勝田二) | 片山 佑花 (勝田二) |
| 副委員長 | 綿引 優太 (田彦) | 亀田 弘人 (勝田三) | 町田光太郎 (勝田三) |
| 役員 | 大曾根胡桃 (勝田一) 坂本 望 (勝田二) 須田 悠香 (勝田二) 照沼 麻理 (勝田三) 中村帆奈南 (佐野) 雨谷 秀樹 (田彦) 飛田香菜美 (那珂湊) 西松 敦子 (勝田中等) 川島 恒志 (審判員) | 中根 優衣 (佐野) 美濃辺汰斗 (大島) 大金 麻紀 (田彦) 藤咲 匠 (美乃浜) 岡田 新司 (勝田中等) 菊本 忠幸 (審判員) | 杉森 紗美 (佐野) 稻村 姫七 (大島) 桐原 徹也 (那珂湊) 小林真奈美 (美乃浜) |

2 連絡先

| | |
|-------------------|---------------|
| 佐野中 | 029-285-0207 |
| 豊田携帯 | 090-5752-1659 |
| 会場 リヴァーレアリーナ (男子) | 029-275-1583 |
| 美乃浜学園 (女子) | 029-212-9311 |

3 日程

| 【男子の部 (リヴァーレ会場)】 | 【女子の部 (美乃浜学園会場)】 |
|------------------|------------------|
| 開場・選手集合 8:30 | 開場・選手集合 8:30 |
| 競技開始 9:30 | 競技開始 9:30 |
| 競技終了 16:00 | 競技終了 16:00 |

4 表彰

優勝・準優勝校にカップ、賞状を授与する。第3位校、及び優秀選手には、賞状を授与する。

5 競技規則

- 2025年度日本バレーボール協会競技規則に準じて行う。
- 使用するボールは男子がモルテン、女子がミカサとする。
- 試合における登録メンバーは14名を上限とし、試合ごとに12名を設定する。
- 開閉会式、表彰は行わない。前の試合が終了後、次の試合の準備に入る追い込み形式（試合間10分、連続の場合は15分）で行う。
- 審判は役員が務め、ホイッスルは短管と長管を使い分ける。
- 各セットどちらかのチームが13点になった際に給水のためのタイムアウトを30秒間確保する。監督やコーチによる指示は行わない。

6 組み合わせ

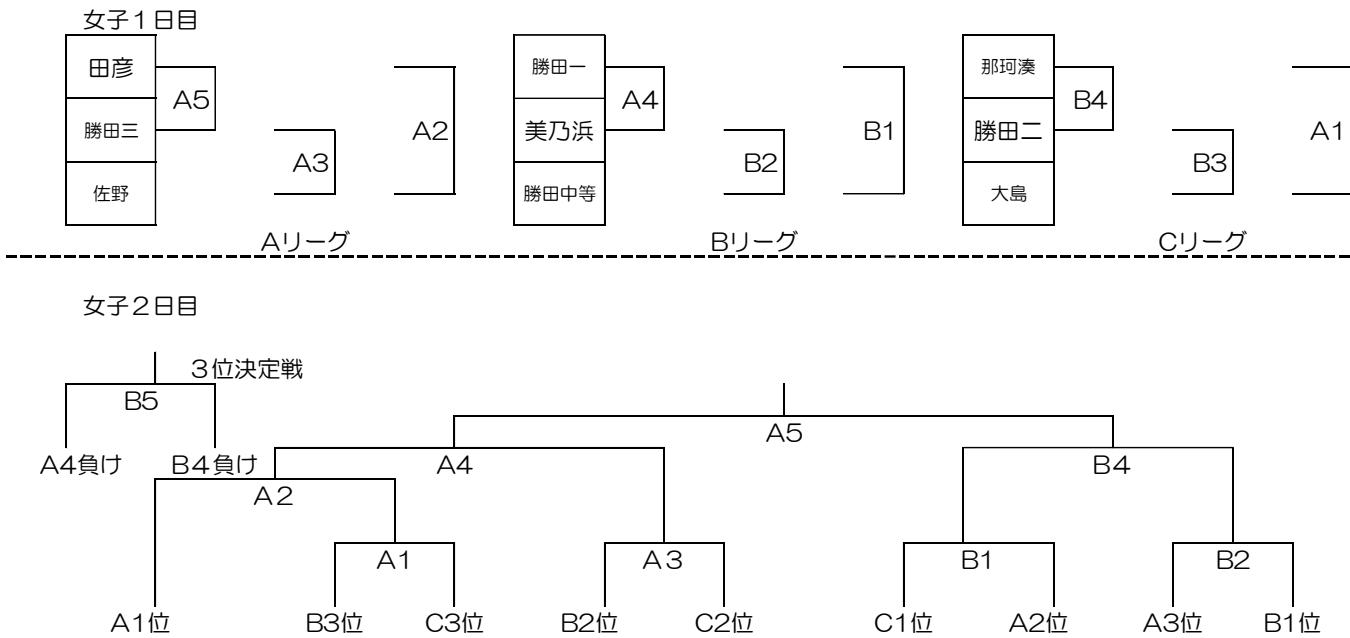
【男子】

| | 佐野 | 大島 | 勝田一 | 田彦 | 勝田三 | 勝田二 |
|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 佐野 | | A 1 | A 2 | b7 | B4 | b5 |
| 大島 | A 1 | | A 3 | A4 | a7 | b6 |
| 勝田一 | A 2 | A 3 | | a5 | a6 | a8 |
| 田彦 | b7 | A4 | a5 | | B1 | B2 |
| 勝田三 | B4 | a7 | a6 | B1 | | B3 |
| 勝田二 | b5 | b6 | a8 | B2 | B3 | |

大文字 6月19日

小文字 6月20日

【女子】



7 その他の

○男子上位6チーム、女子上位4チームが中央地区大会出場となります。

○中央地区大会 男女：大宮西部運動公園体育館

7月3日（木）男子・女子 トーナメント

4日（金）男子 決勝リーグ 女子 決勝リーグ

○県大会

7月23日（水）男子：大宮西部体育館 女子：リリーアリーナ

24日（木）男女：大宮西部体育館

○各学校で感染症対策を行って参加してください。

○体育館や控室等の指定された場所以外には立ち入らないでください。

卓 球 の 部

- 1 大会役員 担当部長 佐竹 秀貴 (勝田一)
 委員長 小澤 卓也 (勝田三) 【男子会場チーフ】
 副委員長 黒澤 大樹 (佐野) 【女子会場チーフ】
 審判長 菊池 潤哉 (田彦)
 生徒看護 奥田 美優 (勝田三)
 生徒看護 赤須 計理 (大島)
 役員 (男子役員 会場: 那珂湊体育館)
 本地 厚子 (勝田一) 木村 芳彦 (勝田一)
 山崎奈津子 (勝田二) 赤津 豊 (勝田二)
 永沼 秀一 (勝田二) 山下 義幸 (佐野)
 小林 聰 (佐野) 松本 拓郎 (大島)
 福島 正樹 (大島) 柴田 駿 (田彦)
 田尻 智子 (田彦) 兼子 正典 (那珂湊)
 藤井 弥久 (勝田中等)
 (女子役員 会場: 松戸体育館)
 一ノ瀬結依 (勝田一) 為我井隆宏 (勝田二)
 黒羽 理恵 (勝田二) 德田 和希 (勝田三)
 菊池 潤哉 (田彦) 峯岸 孝江 (那珂湊)
 横堀 泴子 (勝田中等)
- 2 連絡先 ひたちなか市那珂湊体育館 0 2 9 - 2 6 3 - 6 6 3 5
 ひたちなか市松戸体育館 0 2 9 - 2 7 3 - 9 3 7 0
- 3 日 程 【第1日】団体戦 【第2日】個人戦
 開場 8:00 開場 8:00
 諸連絡 8:30 競技開始 8:40
 競技開始 8:45 表彰競技終了 15:00
 競技終了 15:00
- 4 会 場 男子会場: ひたちなか市那珂湊体育館
 女子会場: ひたちなか市松戸体育館
- 5 表 彰 優勝校と準優勝校に、カップと賞状を授与する。
 3位には、賞状を授与する
 個人戦においては、優勝から3位まで賞状を授与する
 ただし、3位決定戦を行う。
- 6 競技規則 1 現行の日本卓球協会のルールに準ずる。
 ただし、タイムアウト制は取らない。
 2 チェンジコートとラケット交換を行う。
 3 団体戦は4単1複とする。
 4 セット間の休憩時間は、1分以内とする。個人戦の試合間のアドバイスは、ベスト16以降から適用とする。
 5 ユニフォームは、必ず裾をズボンの中にいれる。
 6 団体戦は2つのリーグに分かれてリーグ内で順位を決め、同じ順位同士で対戦し、全体の順位を決定する。
- 出場枠 団体戦 1校男女各1チーム (メンバー登録は8人編成)
 個人戦 シングルス・ダブルス無制限

7 組み合わせ

男子

| A リーグ | ① 大島 | ② 勝一 | ③ 佐野 | ④ 勝二 |
|----------|---------|---------|---------|---------|
| ① 大島 | | | | |
| ② 勝一 | | | | |
| ③ 佐野 | | | | |
| ④ 勝二 | | | | |

| B リーグ | ⑤ 田彦 | ⑥ 勝三 | ⑦ 湊 |
|----------|---------|---------|--------|
| ⑤ 田彦 | | | |
| ⑥ 勝三 | | | |
| ⑦ 湊 | | | |

女子

| A リーグ | ① 田彦 | ② 勝一 | ③ 勝二 | ④ 大島 |
|----------|---------|---------|---------|---------|
| ① 田彦 | | | | |
| ② 勝一 | | | | |
| ③ 勝二 | | | | |
| ④ 大島 | | | | |

| B リーグ | ⑤ 勝三 | ⑥ 佐野 | ⑦ 湊 |
|----------|---------|---------|--------|
| ⑤ 勝三 | | | |
| ⑥ 佐野 | | | |
| ⑦ 湊 | | | |

1. A①対④、A②対③、B⑤対⑦、休⑥
2. A①対③、A②対④、B⑥対⑦、休⑤
3. A①対②、A③対④、B⑤対⑥、休⑦
4. A 1 位対 B 1 位、A 2 位対 B 2 位、A 3 位対 B 3 位

<試合開始予定時間>

第1試合 8 : 45 ~
 第2試合 10 : 00 ~
 第3試合 11 : 00 ~
 昼食 12 : 00 ~
 第4試合 13 : 00 ~
 入れ替え戦 (発生した場合)

- ※ 試合は5セットマッチ3セット先取で、5番手まで行う。
- ※ 試合間で10分間の換気時間を入れる。
 個人戦は別紙トーナメントによる。

8 その他

1 中央地区大会について

期日 7月1日（火）・7月2日（水）

開場 大宮西部総合体育館

出場資格 団体 男子 5チーム 女子 4チーム
個人 男子シングルス12人 女子シングルス8人
男子ダブルス6ペア 女子ダブルス4ペア
(※推薦選手は除く。)

2 指導事項（各学校で事前に指導しておくこと）

- ・大前提として、学校生活の延長であることを理解させる。
- ・自動販売機の使用を禁止する。ごみは全て持ち帰る。
- ・審判は出場する選手が全員できるようにしておく。基本的なルールを身に付けさせ、実践を通して指導しておく。
- ・ラケットやラバーの点検を大会前にしておき、トラブルのないようにしておく。
- ・市販されているゼッケンピン以外のアクセサリーやシューズ標準の靴ひも以外を使用しない。
- ・荷物置場はきれいに使用し、持ち物をきちんと整頓させる。
- ・アドバイスの時間は、ゲーム間で1分以内とする。各学校で副審判となったものは、ストップウォッチを使うように指導する。
- ・その他、会場の正しい使い方について指導し、スムーズな試合進行ができるよう迅速な行動に心がけさせる。

3 事故処理

試合中のけが等が起きた場合には、応急処置後、男子は那珂湊中学校、女子は勝田第一中学校の協力を要請する。また、けが等が軽い場合には、当事者の保護者宅へ連絡を入れ、迎えを要請する。重大なけが等の場合には東消防署へ連絡し、救急車を迅速に要請する。

4 その他

- ・選手、応援選手、顧問は白色の衣服は着用しない。
- ・保護者の観戦は無制限とする。ただし、ギャラリーでの応援を徹底する。
- ・那珂湊体育館に応援に来る保護者に、砂利の駐車場を利用するよう呼びかける。
- ・各校、大会で使用するニッタクの3スターを3つ会場に持ち込む。
(勝田一、二、三、佐野⇒男子会場)
(大島、田彦、那珂湊、勝田中等⇒女子会場)
試合球は大会備品として保管し、数が少なくなった場合に再度3つずつ各校が用意する。
- ・松戸体育館の柔剣道場で昼食を食べる学校は、ブルーシートを敷き、その上で食べる。(中体連の予算で購入。)

令和 7 年度
ひたちなか市総合体育大会
柔道競技の部



会期 令和 7 年 6 月 19 日 (木)
会場 ひたちなか市武道館

競 技 役 員

部 長 菊 池 和 志 (那珂湊)

委 員 長 大久保 良 弘 (勝田二)

委 員 出 口 久 美 (勝田二)

審 判 員 根 本 浩 明 (舞 鶴)
小 沼 勝 (E・N・A)
大 内 剛 (池内道場)

大 坪 智 典 (舞 鶴)
池 内 貴 憲 (池内道場)

会 場 係 出 口 久 美 (勝田二)
湯 浅 可奈子 (池内道場)

秋 山 聖 登 (池内道場)
大久保 良 弘 (勝田二)

記 錄 係 秋 山 聖 登 (池内道場)

大久保 良 弘 (勝田二)

令和7年度ひたちなか市総合体育大会柔道競技の部 大会要項ならびに共通理解事項

- 1 会 期 【令和7年6月19日（木）】
(1) 開場ならびに選手・監督受付 8:00～
(2) 計量 8:20～ 8:40
(3) 保護者入場開始 9:30～
(4) 審判・監督者会議 9:20～ 9:35
(5) 開会式 9:40～ 9:50
(6) 個人戦 10:00～11:30
(7) 団体戦 11:50～12:20
(8) 閉会式 12:20～12:30
- 2 会 場 『ひたちなか市武道館』
〒311-1214 茨城県ひたちなか市和田町3丁目4番地6
TEL 029-263-3810
- 3 参加資格 (1) 参加者は、茨城県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍し、校長が参加を認めた単独校で編成されたチームおよび個人とする。
(2) 年齢は、平成22年（2010年）4月2日以降に生まれた生徒に限る。
(3) 抱点校部活動の参加を認める。
(4) 参加資格の特例は次の通りとする。
① 学校教育法134条の各種学校（1条校以外）に在籍し、茨城県中学校体育大会に参加を認められた生徒であること。
② 参加を希望する各種学校または地域クラブ活動等は以下の条件を具備すること。
ア 茨城県中学校体育大会の参加を認める条件
(ア) 茨城県中学校体育連盟の目的および永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
(イ) 生徒の年齢および修業年限が、我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
(ウ) 参加を希望する学校においては、運動部活動が教育活動の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
イ 茨城県中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
(ア) 茨城県中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
(イ) 茨城県中学校体育大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
(ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
③ 地域クラブ活動に所属する中学生
ア 地域クラブ活動に所属し、茨城県中学校体育大会に参加を認められた生徒であること。
イ 茨城県中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
(ア) 茨城県中学校体育大会の参加を認める条件
a 茨城県中学校体育連盟の目的および永年にわたる活動を理解しそれを尊重すること。
b 生徒の年齢および修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
c 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
d 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出）の「II 新たな地域クラブ活動」ならびに『茨城県地域クラブ活動ガイドライン』（令和5年2月茨城県教育委員会発出）を遵守していること。
e 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは茨城県競技団体に登録されていること。
f 茨城県中学校体育大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
g 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
(イ) 茨城県中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
a 茨城県中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
b 茨城県中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
c 茨城県中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。
d 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）
(ウ) 参加を認めない場合
a 茨城県中学校体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は、参加を認めない。
(エ) 柔道競技専門部細則
a 茨城県中学校体育大会における地域クラブ活動の参加資格特例条件を次の通りとする。

- (a) 茨城県柔道連盟（協会）を通して（公財）全日本柔道連盟に加盟、登録を済ませている。加盟、登録上、届け出をしている所在地の都道府県で参加することができる。
- ・チームとして「団体登録」を済ませている。→団体戦に出場可。
 - ・競技者として「競技者登録」を済ませている。→個人戦に出場可。
 - ・同一年度中は、最初に参加した所属チームからの変更は認めない。
- ※中学校部活動の場合、転校等による所属の変更について、一部、参加制限がある。
- (b) 大会の監督、帯同コーチは、全柔連公認指導者資格を有していなければならない。
- (c) 柔道修業期間を6カ月以上経過した中学生のみ、大会に参加することができる。
- (d) 大会参加にあたり、上記参加資格特例条件に対して、虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、同一年度の地域クラブ活動の大会参加資格を取り消し、チームおよび該当所属選手ともに令和7年度内の参加を認めない。

(5) 個人情報の取扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、（公財）日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規程」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成等、その他競技運営および競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。

- 4 引率者・監督 (1) 参加生徒の引率者・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員※1とする。なお、部活動指導員は、他校の引率者および依頼監督にはなれない。
(※1→ここでいう部活動指導員とは、学校教育法施行規則78条の2に示されているもの)
- (2) 本大会では外部指導者（コーチ）をおくことができる。外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とする。ただし、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者（コーチ）にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者（コーチ）にはなれない。申込みできるのは1校につき1名とする。ただし、同一校で男女とも出場する場合は、それぞれに外部指導者（コーチ）を申込みできる。
- ※ 日本中体連柔道専門部では、外部指導者（コーチ）を当該校の監督でない教職員〔内部コーチ〕・それ以外〔外部コーチ〕と定義づけている。
- 外部コーチの条件
- ① 当該校の校長が認めた者。
 - ② 年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導している者。
 - ③ 中体連の大会運営に関して理解を示し、協力的な者。
 - ④ 中学校の教職員でない者。
 - ⑤ 審判員に準じた服装をすること。
- ※ 大会運営上、支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場させることがある。
- (3) 茨城県中学校体育大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していない者であるとしている。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする。
- (4) 引率者・監督・外部指導者（コーチ）は、審判員に準じた服装をすること。

- 5 ベンチ入り ベンチ入りができるのは、1校につき監督1名と外部指導者または副顧問1名の計2名、地域クラブ活動は、監督1名とコーチ1名の計2名とする。登録者のみのベンチ入りとする。

- 6 参加数 (1) 団体戦
- ① 団体戦のチームは、単独校（拠点校含む）および1団体で編成したチームとする。
 - ② 男子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手7名以内とする。
 - ③ 女子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手4名以内とする。
- (2) 個人戦は男女とも8階級とする。また、体重区分は次の通りとする。
- | | | |
|------|---------------------|---------------------|
| ① 男子 | 50kg級（50kg以下） | 55kg級（50kg超～55kg以下） |
| | 50kg級（55kg超～60kg以下） | 66kg級（60kg超～66kg以下） |
| | 73kg級（66kg超～73kg以下） | 81kg級（73kg超～81kg以下） |
| | 90kg級（81kg超～90kg以下） | 90kg超級（90kg超） |
| ② 女子 | 40kg級（40kg以下） | 44kg級（40kg超～44kg以下） |
| | 44kg級（44kg超～48kg以下） | 52kg級（48kg超～52kg以下） |
| | 57kg級（52kg超～57kg以下） | 63kg級（57kg超～63kg以下） |
| | 70kg級（63kg超～70kg以下） | 70kg超級（70kg超） |

- 7 競技規則 (1) 國際柔道連盟試合審判規程および国内における「少年大会特別規程」ならびに本大会申し合わせ事項による。
- (2) 柔道衣は白色とする。
- (3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

- 8 競技方法 (1) 団体戦
- ① 男女とも、リーグ方式またはトーナメント方式で行う。

- ② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
 - ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手に入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替えおよび一度退いた選手の再出場は認めない。
- ※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
- ※試合毎に監督は、オーダー表を審判員に提出する。
- ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
 - ⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。
 - ⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

一本 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「僅差」

- ⑦ リーグ方式またはトーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
 - ア チーム間における勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。代表戦は任意の選手とし、試合方法は個人戦の競技規則とする。
 - ⑧ 代表戦で両者反則負けの場合には、両チームとも次の試合に進めない。
- (2) 個人戦
- ① 男女とも、リーグ方式またはトーナメント方式で行う。
 - ② 試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
 - ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は 延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）では、新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
 - ④ 両者反則負けの場合には、両者とも次の試合に進めない。

9 計量・柔道衣点検

- (1) 【計量】
- 計量担当者 男子 秋山聖登（池内道場）
女子 湯浅可奈子（池内道場）
- ① 公式計量の前に非公式計量（仮計量）を行うことを認める。
 - ② 非公式計量は時間内であれば、自由に体重を測定することができる。
 - ③ 団体戦の公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。ただし、個人戦の公式計量は時間内であれば、再計量を認める。
 - ④ 公式計量の服装については、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きとする。
※ 団体戦、個人戦どちらの場合においても、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
 - ⑤ 団体戦の公式計量において順番の入れ替え等があった場合は、当該チームの監督に通知するとともに、審判・監督者会議において周知する。
 - ⑥ 計量において、不正・虚偽行為（競技役員の指示なく、体重計から降りる等）が競技役員によって確認された場合、団体戦では該当チームを、個人戦では該当選手を失格とする。
- (2) 【柔道衣点検】
- ① 試合当日、待機席にて審判員が目視にて行う（IJFマーク含）。
 - ② 現行の（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。
 - ③ 柔道衣に必ずゼッケン（チーム名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
 - ④ 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。
※ Tシャツのマーキングについては、（公財）全日本柔道連盟が定める規定（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
 - ⑤ 柔道着コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用し受けること。
 - ⑥ 団体戦、個人戦の両方に出席する選手で同じ柔道衣を着用する場合は、団体戦、個人戦の両方で柔道衣点検を受けること。

10 表彰

- (1) 団体戦
- ① 優勝チーム・準優勝チームには、賞状・トロフィーを授与する。
 - ② 第3位（2チーム）には、賞状を授与する。
- (2) 個人戦

各階級第1位～第3位までの4名には、賞状を授与する。

- 11 参加申込
- (1) 申込方法（引率者・監督→ひたちなか市委員長）および必要書類引率者・監督は、下記の書類・データ等をそろえ、ひたちなか市委員長に提出する。（PDFデータ送付可。その場合は原本を大会当日までに送付、又は大会当日提出。）

ア 参加申込書 イ 大会役員調査用紙

- (2) 申込期限

令和7年5月23日（金）16:00

※ 期限厳守のこと。手続き上の不備は、全て引率者・監督の対応となる。

- (3) 申込み先および連絡先

茨城県 ひたちなか市 市毛 979

ひたちなか市立勝田第二中学校

大久保 良弘

TEL： 029-272-2624

Mail : ookubo.yoshihiro@mail.ibk.ed.jp

12 組み合わせ ひたちなか市中学校体育連盟柔道専門部実行委員会により実施する。

- 13 その他
- (1) 選手の変更について
 - ① 団体戦
 - ア 大会申込用紙提出後、選手の病気・負傷等で選手変更を必要とする場合、所定の登録選手変更届に必要事項を記入の上、大会前日の6月18日(水)までにひたちなか市委員長に提出すること。
 - イ 試合当日は、登録選手の交替のみとし、体重順に編成替えをすること。
 - ② 個人戦
 - 大会申込用紙提出後、選手の病気・負傷等で出場できなくなった場合、出場を棄権する選手の学校および地域クラブ活動は、所定の棄権届を大会前日の6月18日(水)までにひたちなか市委員長に提出すること。
 - (2) 大会期間中の負傷・疾病等については、応急手当のみ行う。また、補償措置については、学校からの参加においては、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)においては、チーム代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。なお、参加者は健康保険証を持参すること(保険証がないときは保健医療が受けられない場合がある)。
 - (3) IDカードを提示しない者は、試合会場への入場を一切認めない。
※ IDカードを配付する範囲は、「監督・コーチ・競技役員・審判員・中学校関係者・高校関係者とする。IDカードは首からかけて携帯すること。
 - (4) 大会についての問合せは、必ず引率者・監督を通じて申し出ること。引率者・監督を通しての問合せ以外は、一切受け付けない。
 - ① 組み合わせに関する問い合わせには一切応じない。
 - ② その他、必要事項については、審判・監督者会議において連絡する。
 - (5) 本大会では、大会運営に支障をきたすので、部旗・応援旗は掲示しないこと。
 - (6) 大会当日、健康上の理由等で監督の変更が必要とされる場合、文書にてひたちなか市委員長に申し出ること。
 - (7) 皮膚真菌症(トンズラーン感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
 - (8) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守する。
 - ① 大会前1ヵ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医の精査を受けること。
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - (9) 紅白帯は、チームで持参すること。

14 感染症対策について

大会に関わる全ての者の感染症対策については、(公財)日本中学校体育連盟の「インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関する対応について」ならびに(公財)全日本柔道連盟の「新型コロナウイルス感染症対応と柔道練習・試合再開の指針(V e r s i o n 7)」等に従うこと。

15 審判員について

- ◎ 本大会は、3審制で行います。

| | | |
|-----|-------|---------|
| 審判員 | 池内 貴憲 | (池内道場) |
| | 小沼 勝 | (E N A) |
| | 根本 浩明 | (舞鶴) |
| | 大内 剛 | (池内道場) |
| | 大坪 智典 | (舞鶴) |

16 会場係・役員生徒について

- (1) ケアシステム(ビデオ撮影)
会場係 湯浅 可奈子(池内道場)
- (2) タイマー・得点板
会場係 湯浅 可奈子(池内道場)
役員生徒 舞鶴柔道クラブ
- (3) 選手・チームの呼び出し
会場係 出口 久美(勝田二)
役員生徒 勝田二中
- (4) 試合結果記録
会場係 秋山 聖登(池内道場)
役員生徒 昭道館池内道場、ENA柔道スクール

令和7年度 ひたちなか市中学校 総合体育大会【剣道競技の部】要項

| | |
|---------|--|
| 1 大会役員 | 専門部長 吉田 行博 (佐 野) 委 員 長 木野内正樹 (田 彦) 審 判 長 1日目：會澤 秀樹 (中 等) ／2日目：中山 直樹 (勝田一) 役 員 白石 秀樹 (勝田一) 佐野 智美 (那珂湊) 鈴木 俊輔 (那珂湊) 中庭 愛 (勝田二) 青木 克典 (勝田二) 今村 美里 (中 等) 大賀 洋希 (中 等) 相馬 沙織 (中 等) 佐藤 大飛 (佐 野) 我妻美沙希 (佐 野) 岩邊 誠一 (田 彦) |
| 審判員 | ひたちなか地区剣道連盟の先生方 水戸刑務所職員の方々 |
| | 高等学校体育連盟の先生方 市内各中学校剣道部顧問 |
| 2 大会会場等 | ひたちなか市総合体育館 (ひたちなか市新光町4 9番地) 029 - 273 - 9370 ※ 大会前日までの連絡先：田彦中学校 (委員長校) 029 - 274 - 9383 |
| 3 日程 | <p>【第1日目】6月19日（木） AM：女子個人 PM：男子団体</p> <p>開場 (集合) 8:00 準 備 8:10</p> <p>女子アップ ~8:45</p> <p><u>顧問・審判会議 8:30</u></p> <p>保護者入館 8:30~</p> <p>諸 注意 8:50 ①競技上の諸注意 ②会場使用に関する諸注意</p> <p>競技開始 (女子個人戦) 9:10~11:30</p> <p>昼 食</p> <p>男子アップ ~12:10</p> <p>*** 団体戦開始は、個人戦終了後50分後とするため、下記の開始時刻は目安 *** (男子団体戦) 12:20~16:00 (女子団体戦) 13:50~15:30</p> <p>表彰伝達 16:15 片 付 け 16:30 退 館 16:50</p> <p>【第2日目】6月20日（金） AM：男子個人 PM：女子団体</p> <p>開場 (集合) 8:00 準 備 8:10</p> <p>男子アップ ~8:45</p> <p><u>顧問・審判会議 8:30</u></p> <p>保護者入館 8:30~</p> <p>諸 注意 8:50 ①競技上の諸注意 ②会場使用に関する諸注意</p> <p>競技開始 (男子個人戦) 9:10~13:00</p> <p>昼 食</p> <p>女子アップ ~13:40</p> <p>表彰伝達 15:45 片 付 け 16:00 退 館 16:40</p> |
| 4 表彰 | 【団体戦】優勝校に、カップ・優勝旗・賞状を授与。準優勝校と第3位校に賞状を授与 【個人戦】優勝の生徒にカップ・賞状を授与。準優勝の生徒、第3位2名の生徒に賞状を授与 |

5 競技上の規定 及び 方法

- (1) 試合は、全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則」、「茨城県中学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項」、「重点指導事項」、事前の顧問会議での決定事項 及び 下記の規定に則って行う。
- (2) 【団体戦】試合時間は3分とし、延長戦は行わない。チームの勝敗は、勝者数・取得本数の順で決める。いずれも同数の場合は、引き分けとする。チームの順位は、勝ち「1点」、引き分け「0.5点」、負け「0点」とした勝ち点を最優先する。勝ち点が同じ場合は、勝者数・取得本数の順で決める。リーグ戦終了後、すべて同数の場合は、任意の者による代表者戦3分1本勝負で順位を決める。勝敗が決しない場合は、勝敗が決するまで2分の延長戦を繰り返す。
- (3) 【団体戦】大会当日の朝に団体戦選手登録用紙 及び オーダー表を受付へ提出する。選手の変更は、補員の中からとし、試合開始前（全体礼）までに会場主任の許可を得て、オーダー表にその変更生徒名を朱書きしてもらう。一度変更された選手は再出場できない。また、選手が5名に満たないチームの参加については、「茨城県中学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項」に従い、団体戦のオーダーを編成する。オーダー表は、模造紙4分の1の大きさで、墨書する。名前は名字だけを記載するが、同一姓の選手がいる場合は、右下に名前の一文字を小さく書く。また、女子のオーダー表には、学校名の右下に小さく「女子」と朱書きする。
- (4) 【個人戦】試合時間は3分とし、勝敗が決しない場合は、勝敗が決するまで2分の延長戦を繰り返す。3位決定戦は行わず、3位は2名とする。
- (5) 【個人戦】出場選手は、事前の顧問会議で出場登録された者のみとする。出場できなくなった選手の相手選手は、不戦勝とし、勝ち名乗りを受ける。
- (6) 延長を繰り返すことに関しては、延長戦2回→小休止（深呼吸）→延長戦2回→面を外して休憩とする。
- (7) 反則については、反則をした選手本人に内容（時間空費、つばぜり合い等）を分かるように説明した上で、『反則○回』の宣告をする。
- (8) 試合者は、面マスクまたはシールドのどちらかを着用する。両方の着用も可とする。
- (9) 竹刀は規定のものを使用する【平成31年4月1日改正（全剣連剣道試合・審判運用要領）による】。鎧は、皮色がのぞましい。また、柄にトンボ柄や樹脂付き等の加工が施されているものは使用できない。
- (10) サポーター、テーピング、足袋の使用については、定められた届け用紙を会場主任に提出することで認められる。未届けで試合を行っている場合は、審判は即座に外させる。
- (11) 垂の名札は、規定のものをする。チョーク等の消えるものは不可。諸事情により、大会までに購入が間に合わなかった場合は、会場主任に申し出て、許可を得てから出場する。また、目印（タスキ）を付ける。
- (12) 試合場への時計類の持ち込みは禁止する（審判員・監督の腕時計も同様）。また、試合中の監督のサイン、声援は禁止とし、応援は拍手のみとする。監督席において試合終了者への助言（アドバイス）等は控える。
- (13) 審判員・監督は、灰色のズボン・紺の上着・白のワイシャツ・エンジ色のネクタイ・紺の靴下を着用する。暑い場合は上着、ネクタイを着用しない場合もあり得る。

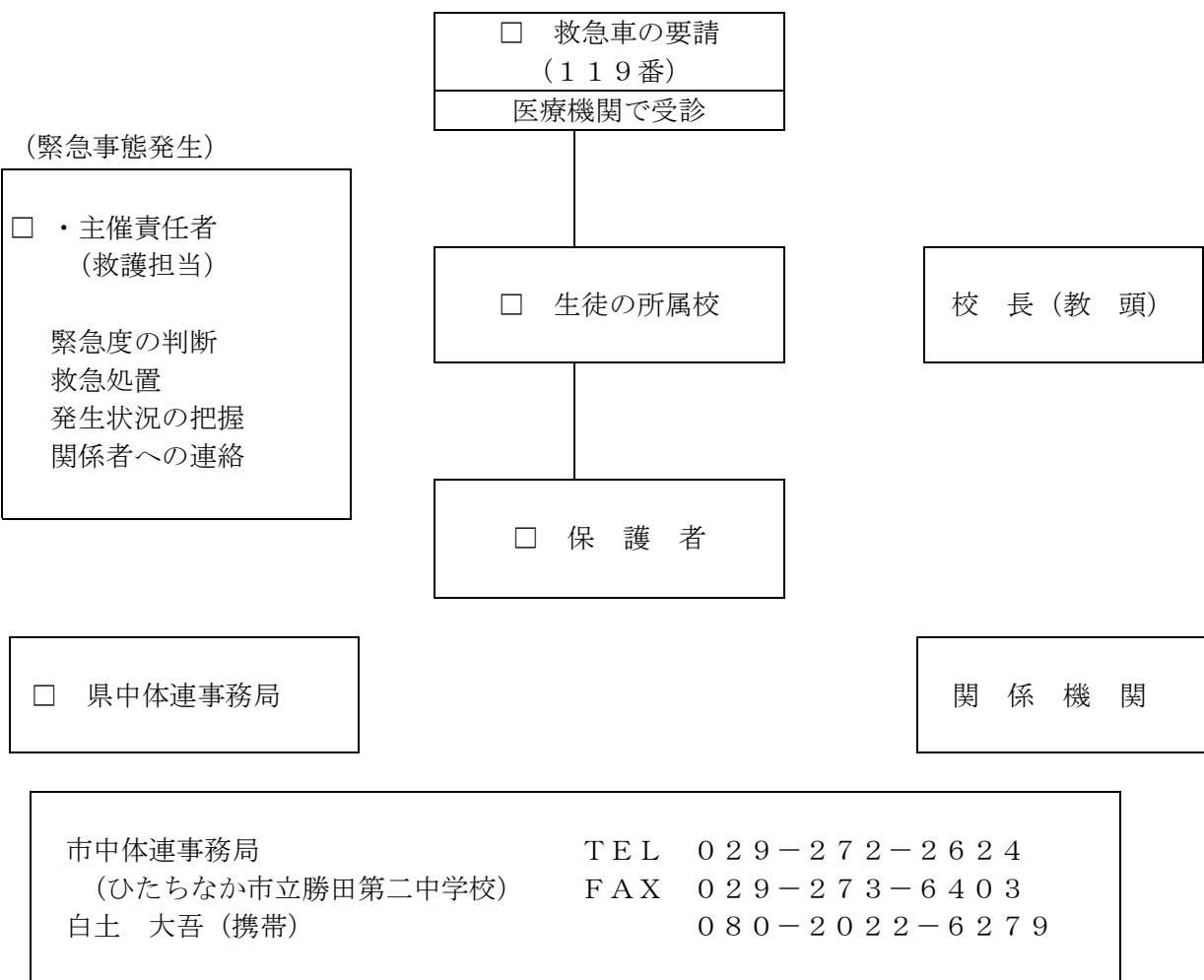
事故発生時の対応について

- ・次の1～4の項目について、□に「チェック」しつつ対応しよう。

1 応急手当の基本（特に、以下の点について端的に、かつ冷静な観察を）

- ・出血があるか？
- ・意識はあるか？
- ・呼吸はしているか？
- ・脈はあるか？
- ・手足は動くか？
- ・顔色はどうか？
- ・皮膚の色や体温はどうか？
- ・傷病者の全体状態と傷病の様子はどうか？

2 直ちに緊急処置の必要な場合



3 事故発生時の留意事項

- (1) ポイント 1 生徒の生命・安全への対応
 保護者及び、所属校への対応
 関係役員の共通理解、共通実践の在り方
 関係者への連絡・報告、指示を受ける（電話で先づ一報を）
 報道機関への対応（担当を一本化し、2名以上で）

- (2) ポイント 2 中体連は、この件に誠意と最善を全力で尽くす
 他の参加者の動搖と再発防止の手立てを講じる
 居合わせた保護者等の理解と協力を得る
 中体連事務局と密接な連絡・提携を図る
 不安や不明な点は教育事務所・県保健体育課に相談する

- (3) ポイント 3 直ちに、事故対応の役割分担を決める

| | |
|-------------------------|---------------|
| (例) 2人以上で確認しつつの対応が望まれる。 | |
| ・当該生徒への対応 | 救護担当 |
| ・当該校や関係機関との対応 | ・引率者 総括責任者 |
| ・他の参加者等への対応 | ・ |
| ・報道機関への対応 | ・ |
| ・記録、報告文書への対応 | ・ |
| ・電話番 | ・ |
| ・その他 | ・ |
| (必要に応じて) | |

- 事故後のすべてを、経過ごとに記録する

| 月 / 日・時刻 | 内 容・行 動等 | 具体的な対応 | 対応者 |
|----------|----------|--------|-----|
| | | | |

4 その他

- 保険者・生徒等の所属校・中体連事務局への事情説明は、「はっきりしていること」を「できるだけ早い段階で」する。
 「今、主催者として何ができるか。」を念頭に、安全と人権そして教育上の配慮に考慮しつつ誠心誠意、手厚く、可能な限りの最善を尽くす。

事故報告書

| | | | | |
|-----------------------|---|-----|------|--------------------|
| 発信者 (委員長) | | 受信者 | | 令和 年 月 日() 時 分 |
| 事故件名 | ひたちなか市（総合・新人）体育大会 競技 | | | の件について |
| 競技名 | | | 責任者名 | |
| 事故発生 年月日 | 令和 年 月 日 () 時 分 頃 | | 場所 | |
| 生徒名 | | | 所属校名 | |
| 事故の概要 | ※ 特に事故原因については、事実と推測を明確にして記述する。 | | | |
| 専門部の事後対応 | | | | |
| 警察・報道機関等への対応 (有・無) | | | | |
| 事故連絡先 | ・市中体連事務局 (ひたちなか市立勝田第二中学校) TEL 029-272-2624 | | | |
| | FAX 029-273-6403 | | | |
| | ・白土 大吾（携帯） 080-2022-6279 | | | |
| | ・事故者の所属校（ ） 校長名（ ） | | | |
| | ・保護者名（ ） 連絡先（ - - - - - ） | | | |

ひたちなか市中体連

大会開催時補償の手引き

(補償対象:新人戦・総体)



ひたちなか市中学校体育連盟

【補償の対象者】

当連盟および会員が法律上の賠償責任を負った場合に補償します。

【補償の内容】

| | | |
|---------|------------------|-------|
| 対人事故 | 1名3,000万円 1事故1億円 | 免責なし |
| 対物事故 | 1事故300万円 | 免責なし |
| 管理財物補償 | 1事故/期間中100万円 | 免責1万円 |
| 人格権侵害費用 | 1事故/期間中1,000万円 | 免責なし |
| 訴訟対応費用 | 1事故/期間中1,000万円 | 免責なし |
| 初期対応費用 | 1事故/期間中1,000万円 | 免責なし |
| 失火賠償補償 | 1事故/期間中1,000万円 | 免責なし |
| 借用不動産損壊 | 1事故/期間中1,000万円 | 免責なし |
| 漏水補償 | 主契約と同額 | 免責なし |

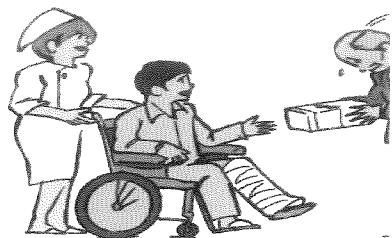
【事故発生時の対応】

事故報告書に必要事項を記入のうえ中体連事務局までご提出ください。事務局より取扱代理店に提出します。その後、保険取扱代理店(または保険会社)から連絡があります。

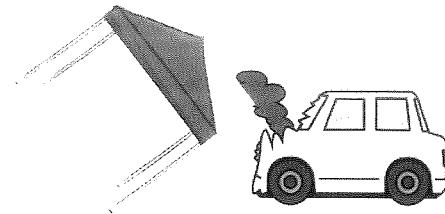
【免責条項(補償されない主な事例)】

- ① 故意または重大な過失による事故
- ② 同居の親族に対する事故
- ③ 車両の運行に起因する事故 等

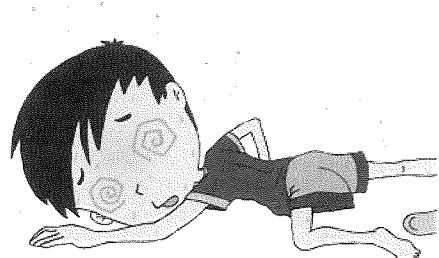
【こんな事故が対象です】



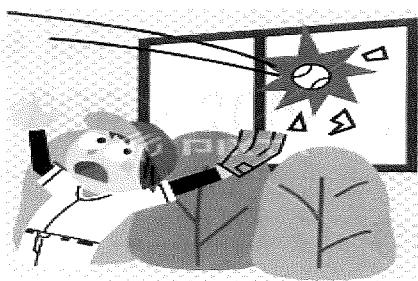
大会前の練習で生徒が打ったボール
が歩行者にあたってケガをさせた。(対人)



大会用に設営したテントの不備で風にあお
られて停車中の来賓の車にあたった。(対物)



大会中に参加していた選手(生徒)が熱中症
で倒れ、安全管理を問われた。(対人)



開始前の練習で生徒が打ったボール
が隣家の窓ガラスを割った。(対物)



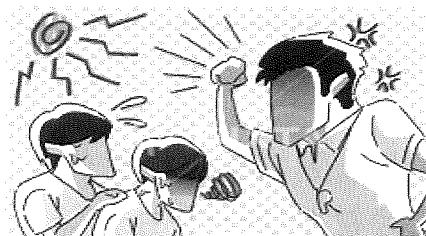
大会中にケガ人がでて、急いで病院へ搬送する
ためにタクシーを使った。(初期対応)



事故が発生して弁護士に相談したが、被害者
が納得して事故にならなかった。(訴訟対応)



大会で使う借りたカメラを誤って
落として壊した。(管理財物)



活動中についかっとして暴言を言
ってしまった。(人格権侵害)

Chubb 損害保険株式会社 御中

報告日 2024年10月2日

事故報告書 賠償事故 (931LG*****-*)

今般発生した事故について以下の通り報告します。

【契約者名】

ひたちなか市中学校体育連盟

【報告者】

送信先

(株)サリージョイス・ジャパン FAX No.

0120-002-998

茨城 進 印

(連絡先)

TEL 029 - ○○ - ●●
FAX - - -

事故内容

事故日 2024年9月8日 午前・午後 13時30分頃

発生場所 ○○中学校グラウンド

事故状況および傷病の状態

大会開催中、会場に設営したテントが突風にあおられて
舞い上がり、応援に来ていた保護者の自動車にあたってしまい
傷つけてしまった。

テントの設営がちょっと緩かったもの。

修理業者等

○○自動車

連絡先

029-111-1111

以上

【取扱代理店/問合せ先】

株式会社サリー・ジョイス・ジャパン 茨城支店

茨城県牛久市牛久町149-2 サニコト新町201 西ノ原(ニシノハラ)

FREE ダイヤル 0120-305-660 FREE FAX 0120-002-998

e-mail nishinohara@hokenlink.co.jp

Chubb 損害保険株式会社 御中

報告日 20 年 月 日

事故報告書

証券番号 : 931LG703602-5

今般発生した事故について以下の通り報告します。

【契約者名】

ひたちなか市中学校体育連盟

送信先

(株)サリージョイス・ジャパン FAX No.

0120-002-998

【報告者】

(連絡先) TEL _____

(印)

事故内容

事故日 20 年 月 日 午前・午後 時 分頃

発生場所 _____

事故状況および傷病の状態

添付資料 写真 ・ お見積書 ・ その他 ()

以上